

&lt;報道関係各位&gt;

2019年10月吉日  
一般社団法人 日本化学工業協会

～第12回 レスポンシブル・ケア山口西地区地域対話～  
**化学プラントと地域住民の相互理解を促進する対話集会を開催**

拝啓 秋冷の候、報道関係の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一般社団法人日本化学工業協会(東京都中央区、会長:淡輪 敏 三井化学株式会社代表取締役社長)レスポンシブル・ケア委員会では、化学工場立地地域の住民や行政、教育関係者と企業との相互理解や共存・共生を推進する活動として、毎年、企業の環境保全や保安防災の取組状況を説明する地域対話を全国各地で開催しています。本年も、宇部市で「第12回レスポンシブル・ケア山口西地区地域対話」を開催する運びとなりました。

今回の地域対話では、地域住民、行政、教育関係者の皆様を対象に、「近年の自然災害から学ぶこと」と題して、広中秀治気象予報士・防災士から講演いただくとともに、災害対策・保安防災をテーマにした企業の取組み事例3題を紹介する予定です。また発表の後には、地域と企業との良好な関係の維持、発展を目的とした意見交換会も実施します。

謹白

## 記

日 時: 2019年11月8日(金) 13:30 ~ 19:30

会 場: ANAクラウンプラザホテル宇部 国際会議場(3F)

住所: 山口県宇部市相生町8-1 TEL:0836-32-1112

プログラム: 発表会 13:30 ~ 17:20

1. 基調講演 「近年の自然災害から学ぶこと」 広中 秀治氏(気象予報士、防災士)
2. 企業発表 企業のRC取組状況について
  - ①セントラル硝子(株)宇部工場
  - ②日本化薬(株)厚狭工場
  - ③下関三井化学(株)本社工場
3. 意見交換会
4. 交流会 17:30 ~ 19:30

参加企業: 宇部興産(株)宇部ケミカル工場/宇部藤曲工場、下関三井化学(株)本社工場、セントラル硝子(株)宇部工場、テクノUMG(株)宇部工場、戸田工業(株)小野田事業所、日産化学工業(株)小野田工場、日本化薬(株)厚狭工場、

以上

レスポンシブル・ケア(RC)活動とは:

製品の開発から製造、物流、使用、最終消費、廃棄・リサイクルにおけるサプライチェーン全体において「環境・安全・健康」を確保し、社会との対話を通じて成果を公表する、化学業界の自主的取組みで、1985年にカナダで始まりました。化学業界では毎年、取組みの成果を公表する活動のひとつとして、工場立地地域の住民を主な対象とした「地域対話」を実施しています。

&lt;本取材案内に関するお問い合わせ先&gt;

一般社団法人 日本化学工業協会 広報部 / 永井 TEL.03-3297-2555 FAX.03-3297-2615